

令和2年度
事業報告書

社会福祉法人 慈愛会

令和2年度（2020年度） 社会福祉法人 慈愛会 事業報告書

1 入所定員（現員）、利用者（児）、職員の状態 （令和3年3月31日現在）

区分 施設名	定員	現員	利用者 延人員	利用人員数		職員数	
				入園者	退園者	常勤	非常勤
清心慈愛園	32	24	10,767	7	9	27	5
小規模児童養護施設 歩夢ホーム	6	5	2,189	0	1	4	3
小規模児童養護施設 あおば	6	6	2,190	1	0	4	1
小規模児童養護施設 ひより	6	6	2,190	0	0	4	2
医療福祉センター聖ヨゼフ園	120	117	42,250	4	3	194	25
相談支援センター聖ヨゼフ園	相談受付件数637件						
保育所等訪問支援事業所等聖ヨゼフ園	訪問回数1回						
清心乳児園	20	14	6,077	5	9	42	9
特別養護老人ホーム富の里	50	50	17,323	8	8	23	22
富の里 短期入所サービスセンター	10	—	1,996	—	—	3	1
富の里 デイサービスセンター 介護保険法に基づく第一号事業 <small>（生きがいデイ教室富の里デイサービスセンター）</small>	35	—	8,168	—	—	9	8
グループホーム 富の里	18	18	6,237	3	2	14	3
生活支援ハウス 富の里	10	8	3,179	0	1	1	1
糸島市前原西地域包括支援センター	相談受付件数5,797件 訪問件数1,121件					10	1
富の里 ケアプランセンター	介護給付1,367件 予防給付252件					5	0
富の里ヘルパーステーション	訪問回数5,205回					3	7
篠原の里	50	49	16,597	5	4	10	3
しのはらの里デイサービスセンター	25	—	5,859	—	—	7	4
デイサービス源藤の里こころ	30	—	4,292	—	—	7	3
小規模多機能ホーム源藤の里こころ	25	10	3,618	—	—	10	2
合計	443	307	132,932	33	37	377	100

2 理事会・評議員会・監事監査等の招集及び開催

R2.6.3	監事監査（招集通知発出日：R2年5月13日） 【集合会議】
6.11	令和2年度 第1回理事会（招集通知発出日：R2年5月27日） 【集合会議】 第1号議案 令和元年度慈愛会事業報告（案）について 第2号議案 令和元年度収支決算（案）について 「令和元年度会計監査報告及び監事監査報告」 第3号議案 令和2年度定時評議員会の招集及び議題等について 第4号議案 令和2年度会計監査人の再任及び報酬等の額について 第5号議案 諸規程の一部改正について 第6号議案 法人が借地している土地の寄附について 第7号議案 令和2年度資金運用計画について 第1号報告 令和元年度福岡県社会福祉施設指導監査の結果について（通知） 第2号報告 理事長・常務理事の職務執行状況について（令和2年3月～5月） 第3号報告 令和元年度社会福祉充実残額の算定結果（見込み）について

6.26	令和2年度 定時評議員会（招集通知発出日：R2年6月12日） 【WEB会議】 第1号議案 令和元年度収支決算（案）について 「令和元年度会計監査報告及び監事監査報告」 第2号議案 法人が借地している土地の寄附について 第1号報告 令和元年度慈愛会事業報告（案）について 第2号報告 令和元年度福岡県社会福祉施設指導監査の結果について（通知） 第3号報告 令和2年度会計監査人の再任について 第4号報告 令和元年度社会福祉充実残額の算定結果について
7.24	令和2年度 第2回理事会（招集通知発出日：R2年7月10日） 【WEB会議】 第1号議案 諸規程の一部改正（案）について ①給与規程の一部改正 ②旅費規程の一部改正 ③就業規則の一部改正
R3.3.22	令和2年度 第3回理事会（招集通知発出日：R2年3月5日） 【WEB会議】 第1号議案 法人が借地している土地寄附の進捗状況について 第2号議案 令和2年度収支補正予算（案）について 第3号議案 令和3年度事業計画（案）について 第4号議案 令和3年度収支予算（案）について 第5号議案 令和2年度第1回臨時評議員会の招集（案）について 第6号議案 定款の一部変更（案）について 第7号議案 諸規程の一部改正（案）について 第8号議案 聖ヨゼフ園施設長辞職に伴う施設長選任について 第9号議案 理事辞任に伴う理事候補者の選任について 報告事項1 篠原の里給食業務委託について 報告事項2 理事長及び常務理事の職務の執行状況（令和2年6月～令和3年年2月） 報告事項3 満期保有目的の債券の運用状況について
3.30	令和2年度 第1回臨時評議員会（招集通知発出日：R3年3月19日） 【WEB会議】 第1号議案 法人が借地している土地寄附の進捗状況について 第2号議案 令和2年度収支補正予算（案）について 第3号議案 令和3年度事業計画（案）について 第4号議案 令和3年度収支予算（案）について 第5号議案 定款の一部変更について 第6号議案 理事辞任に伴う理事の選任について 第1号報告 聖ヨゼフ園施設長辞職に伴う施設長選任の結果について

3 定款等に関する事項（登記・認可・変更等）

R2.4.23	定款変更認可申請（福岡県知事） 変更内容：地域小規模児童養護施設関係「名称変更・基本財産の増加・地目変更」等 （認可年月日：令和2年6月5日「2児第421号」）
6.29	資産総額の変更登記 令和3年3月31日変更 資産の総額 3,858,200,415円

4. 会計監査人の業務執行状況

R2.4.1	残高確認状発送手続・実査 【集合会議】
R2.5.22~25 R2.5.25	期末監査（期末実証手続） 【集合会議】 監事意見監査 【集合会議】
R2.6.11	第1回理事会（令和元年度会計監査報告） 【集合会議】
R2.7.30	稲葉公認会計士事務所と監査契約を締結 報酬額 2,695,000円（消費税込み）
R3.1.27~28	期中監査（内部統制の検証・期中取引の実施手続） 【集合会議】

5 事業運営の透明性に関する事項

(1) 社会福祉法人の現況報告書等の届出・公表等（情報公開）

R2.6.16	所轄庁への届出 社会福祉法第59条及び社会福祉法施行規則第9条等の規定に基づき、社会福祉法人の現況報告書等については、「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムの財務諸表等の入力シート」及び電子ファイル（附属明細書等）を北筑後保健福祉環境事務所へ届出（送信）
R2.7	全国社会福祉法人経営者協議会「法人情報公開ホームページ」の更新 更新内容（現況報告書、財務情報、法人監事監査、所轄庁による法人指導監査、公認会計士等による外部監査、事業計画・報告書等）
R2.7	慈愛会のホームページで公表 定款、現況報告書、財産目録、貸借対照表、事業活動計算書、資金収支計算書、事業報告書、事業計画書、監事監査報告書、外部監査報告書、社会福祉施設指導監査結果、役員等報酬規程、役員等名簿
R2.5.28	消費税及び地方消費税の確定申告 久留米税務署へ提出（5.29）
R2.6.10	久留米税務署へ更正の請求書提出（6.10）
R2.7.3	公益法人等の損益計算書等の提出（7.3） 久留米税務署へ提出

6 意見要望等（苦情解決等）による第三者委員会の開催

R2.8.28	第33回 意見要望等受付結果報告（期間：R2.1.1~R2.6.30） 【WEB会議】 1. 第三者委員 下川 雅文（障がい者支援施設 ウェルフェアマリア 施設長） 西原 尚之（一般社団法人 ファミリーワーク相談室ニシハラ 代表） 2. 法人職員 法人理事長 平田 牧男（清心慈愛園 総括園長） 法人常務理事 平田 直之（富の里デイサービスセンター管理者） 法人事務局長 平田 良一（聖ヨゼフ園 副園長）
---------	--

	<p>法人事務局次長 中村広一郎 法人事務次長 平田 清子</p> <p>3. 意見要望等解決責任者 (1) 平田 哲男(清心慈愛園 園長) (2) 山本 正士(聖ヨゼフ園 園長) (3) 平田ルリ子(清心乳児園 園長) (4) 平田 正直(富の里 園長) (5) 田中 英樹(篠原の里 園長)</p> <p>4. 意見・要望等の受付書担当者等(受付書説明者) (1) 牛島 勲(清心慈愛園 主任) (2) 原田加代子(聖ヨゼフ園 看護部長) (3) 平田美津子(清心乳児園 副園長)</p> <p>5. 受付件数5件 清心慈愛園3件、聖ヨゼフ園1件、清心乳児園1件</p>
R3.2.15	<p>第34回 意見要望等受付結果報告(期間:R27.1~R2年12.31) 【WEB会議】</p> <p>1. 第三者委員 (1) 下川 雅文(監事・障害者支援施設「ウェルフェアマリア」施設長)</p> <p>2. 法人職員 (1) 法人理事長 平田 牧男(清心慈愛園 統括園長) (2) 法人常務理事 平田 直之(富の里短期入所サービスセンター・生活支援ハウス 管理者) (3) 法人事務局長 平田 良一(聖ヨゼフ園 副園長) (4) 法人事務局次長 中村広一郎(法人事務局次長)</p> <p>3. 意見要望等解決責任者 (1) 平田 哲男(清心慈愛園 園長) (2) 山本 正士(聖ヨゼフ園 園長) (3) 平田ルリ子(清心乳児園 園長) (4) 平田 正直(富の里 園長) (5) 田中 英樹(篠原の里 園長)</p> <p>4. 意見・要望等の受付書担当者等(受付書説明者) (1) 牛島 勲(清心慈愛園 主任)</p> <p>5. 受付件数 2件 清心慈愛園 2件</p>

7 園長会・運営委員会・各部会事業報告

(1) 園長会

ア R2年4月9日(臨時) 【集合会議】

(ア) 新型コロナウイルス感染症対策について

① 新任職員研修会 ② 人事考課研修(新任職員・新任考課者)

③ 全国社会福祉協議会相互研修 ④ 公務出張(県内・法人内(施設間)移動・県外)

⑤ 職員の私的移動

イ R2年4月27日(第218回) 【集合会議】

(ア) 働き方改革について

(イ) 源藤の里こころの運営(支援)について

(ウ) 次期将来構想の策定について

(エ) 令和2年度慈愛会組織について

(オ) 非常事態宣言(新型コロナウイルス感染症)の対応について

(カ) 報告事項等

① 新型コロナウイルス感染症予防対策を踏まえたホームレス支援について

② 障害者雇用納付金について

ウ R2年5月14日(臨時) 【集合会議】

- (ア) 法人採用（試験）の在り方について（Web 面接）
 - (イ) 会計監査人による監査の際の「法人監事の出席」について
 - (ウ) 監事監査の実施方法について
- エ R2年5月26日（第219回） 【集合会議】
- (ア) 人事考課制度（2019年下期結果）について
 - (イ) 職員採用試験について
 - (ウ) 働き方改革について（日程確認）
 - (エ) 源藤の里こころの運営（支援）について
 - (オ) 有価証券の取扱い・第1回理事会議案について
 - (カ) 次期将来構想の策定について
 - (キ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - (ク) 職員の不適切対応について（清心乳児園）
 - (ケ) 報告事項
 - ①富の里（入所利用・退所者）利用料未収金について
- オ R2年6月23日（第220回） 【集合会議】
- (ア) 人事考課制度（総合考課・昇給コンサルを受けての対応）について
 - (イ) 職員採用試験について
 - (ウ) 働き方改革について
 - (エ) 旅費規程の一部改正について
 - (オ) 源藤の里こころの運営（支援）について
 - (カ) 次期将来構想の策定について
 - (キ) 法人50周年記念事業（令和3年度）について
 - (ク) 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - (ケ) 報告事項
 - ①第三者委員会（日程調整） ②令和2年度慈愛会組織（専門部会委員）について
 - ③令和2年度国勢調査 調査員の推薦（大刀洗町役場）について
- カ R2年7月20日（第221回） 【WEB会議】
- (ア) 人事考課制度（総合考課結果等）について
 - (イ) 職員採用試験について
 - (ウ) 働き方改革について
 - (エ) 諸規程の一部改正について
 - (オ) 源藤の里こころの運営（支援）について
 - (カ) 法人50周年記念事業について
 - (キ) 次期将来構想の策定について
 - (ク) 令和2年度慈愛会組織（委員会の新設・専門部会委員）について
 - (ケ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - (コ) 報告事項
 - ①第三者委員会（資料確認） ②法人全体会の取扱い（延期・中止・実施内容）
 - ③令和2年度指定居宅サービス事業者等に対する指導の結果について
 - ④高年齢労働者の労働災害防止対策に係る取り組みについて（協力要請）
 - ⑤法人心理士会の設置について ⑥清心慈愛園卒園生の死亡情報の管理について
 - ⑦納骨堂の購入について
- キ R2年8月28日（第222回） 【WEB会議】
- (ア) 前回園長会議事報告について
 - (イ) 職員採用試験について
 - (ウ) 働き方改革について
 - (エ) 源藤の里こころの運営（支援）について
 - (オ) 法人50周年記念事業について

- (カ) 次期将来構想の策定について
- (キ) 令和2年度慈愛会組織（委員会の新設・専門部会委員）について
- (ク) 新型コロナウイルス感染症への対応について
- (ケ) 報告事項

- ① 下窄神父講演録（「法人理念を味わう」）の取扱い
- ② 永年勤続表彰（法人全体研修会中止に伴う）の取扱い
- ③ 日本社会事業大学（指定法人更新通知・専門職大学院リカレント講座）
- ④ 提携法人・連携法人推薦入学試験等について（日本福祉大学）
- ⑤ FUKUSHI meets!（2022 新卒向け福祉就職フェア）

ク R2年9月24日（第223回） 【WEB会議】

- (ア) 職員採用試験について
- (イ) 働き方改革について【タイムリーダー導入業者プレゼン結果 ・ 職員区分】
- (ウ) 源藤の里こころの運営（支援）について
- (エ) 次期将来構想の策定について
- (オ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
- (カ) 報告事項等
 - ① 法人 新任職員研修について 「日程表」「講師料」
 - ② 令和2年度 永年勤続表彰者について
 - ③ 全国社会福祉協議会職員相互研修について
 - ④ 法人50周年記念事業について
 - ⑤ 令和2年度慈愛会組織（専門部会）について
 - ⑥ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程の中止について
 - ⑦ 一般社団法人未来研究所 臥龍（Wolong）について

ケ R2年10月22日（第224回） 【WEB会議】

- (ア) 人事考課制度について
- (イ) 職員採用試験について（1 採用試験の状況 ・ 2 エゴグラム改訂）
- (ウ) 働き方改革について
- (エ) 源藤の里こころの運営（支援）について
- (オ) 次期将来構想の策定について
- (カ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
- (キ) 報告事項等
 - ① 乳児院等の多機能化について
 - ② 一般社団法人未来研究所 臥龍（Wolong）について
 - ③ 法人50周年記念事業について
- (ク) 情報提供等
 - ① 福岡県経営協：Zoom会議で参加者を1,000人（以上可能）なシステムを導入中
 - ② 西日本新聞 都市圏版 10月22日朝刊 第一面）「コロナ解雇 無援の果て」

コ R2年11月25日（第225回） 【WEB会議】

- (ア) 人事考課制度について
- (イ) 職員採用試験について
- (ウ) 働き方改革について
- (エ) 源藤の里こころの運営（支援）について
- (オ) 次期将来構想の策定について
- (カ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
- (キ) 次期将来構想・次年度事業計画等の関係について
- (ク) 報告事項等
 - ① 寄付依頼（久留米大学医学部皮膚科学教室）について
 - ② 「第3回オープンケアエリアふくおか」の共催について
 - ③ 全社協・国際社会福祉基金「国際交流・支援活動会員」への登録継続について

サ R2年12月22日（第226回） 【WEB会議】

- (ア) 職員採用試験について

- (イ) 働き方改革について
- (ウ) 源藤の里こころの運営（支援）について
- (エ) 次期将来構想の策定について
- (オ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
- シ R3年1月22日（第227回） 【WEB会議】
 - (ア) 人事考課制度について
 - (イ) 職員採用試験について
 - (ウ) 働き方改革について
 - (エ) 源藤の里こころの運営（支援）について
 - (オ) 2021年度経営方針・新ビジョンについて
 - (カ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - (キ) 韓国学生日本社会福祉研修について
 - (ク) 報告事項等
 - ①福岡にんしん110番 Link ②第三者委員会 意見要望受付書 ③法人内各種研修の実施方法
 - ④日本福祉大学 2020年度提携社会福祉法人サミット
 - ⑤アジア社会福祉従事者研修 修了生とのオンライン研修会
- ス R3年2月26日（第228回） 【WEB会議】
 - (ア) 職員採用試験について
 - (イ) 働き方改革について
 - (ウ) 源藤の里こころの運営（支援）について
 - (エ) 2021年度経営方針・新ビジョンについて
 - (オ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - (カ) 全国社会福祉協議会出向職員（研修生）について
 - (キ) 給食材料業者の契約更新について
 - (ク) 有価証券の状況及び主幹銀行の選択について
 - (ケ) 諸規程の改正について
 - (コ) 報告事項
 - ①法人全体会 ②新任職員事前研修会
 - ③事業所内保育所（運営委託業者アイگران）からの依頼
- セ R3年3月29日（第229回） 【WEB会議】
 - (ア) 職員採用試験について
 - (イ) 働き方改革対応について
 - (ウ) 源藤の里こころの運営（支援）について
 - (エ) 慈愛会ビジョン2025について
 - (オ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - (カ) 全国社会福祉協議会出向職員（研修生）について
 - (キ) 諸規程について
 - (ク) 有価証券の状況及び主幹銀行の選択について

(2) 法人運営委員会 (R2年度事業報告)

ア 会議開催（12回）

第1回	4月12日	第2回	5月10日	第3回	6月14日	第4回	7月12日
第5回	8月16日	第6回	9月13日	第7回	10月11日	第8回	11月8日
第9回	12月13日	第10回	1月17日	第11回	2月14日	第12回	3月16日

イ 法人理念の周知と実践

(ア) キャリアデザインハンドブックの研修等への活用

(イ) 公益的な取り組みの遂行と取りまとめ

社会福祉制度改革へ対応すべく、元来、社会福祉法人とはサービスが必要だが制度の狭間で

サービスを受けられていない方への支援を行政に先駆けて実践してきた。そういった社会福祉法人としてのあるべき姿を描き、各施設で市町村や社会福祉協議会と連携し実践し将来構想の展望の中で報告し共有した。(詳細は各施設報告参照)

ウ 法人将来構想の展望

(ア)「糸島宮崎地区」「大刀洗地区」の各地区で1回/月将来構想委員会を開催し、社会福祉制度改革及び我が事丸ごと地域共生社会の実現を踏まえ法人運営委員会にて進捗状況等の情報共有に努めた。

- i 糸島・宮崎地区の主な検討
 - ・ライフレスキュー事業の展開
 - ・自立支援に向けたリハ職との連携のあり方の検討
 - ・地域包括ケアシステム推進に関わる連携やネットワークの構築検討
- ii 「大刀洗地区」
 - ・慈愛園・乳児園新設計画・地域支援事業の推進
 - ・大刀洗町との意見交換会(新型コロナ感染症にて当面見合わせ)
 - ・年末のおせち料理の配食
 - ・買い物移動支援(毎週金曜日鳥飼公民館⇄農協・A コープ)
 - ・大刀洗町乳幼児健診のフォローアップへ臨床心理士の派遣

(イ) 新慈愛会ビジョンの策定

エ 情報の保護、情報の開示と共有化

(ア) 財務諸表等の開示

(イ) 情報の共有化の推進(全施設):委員会での情報共有と法人共有フォルダの活用

(ウ) 各施設個人情報保護推進委員会の報告

オ 慈愛会経営組織の充実

(ア) 人事考課制度の継続

(イ) 働き方改革への対応

- i 就業規則の改訂
- ii 再雇用者における同一労働。同一賃金への対応

(ウ) 研修体系構築について(法人研修部会と協力)

4月	考課者研修・新任職員人事考課研修:中止
6月	初任者研修:次年度へ延期
7月	中堅職員ステップアップ研修:中止
9月	リーダー研修・人事考課研修:中止
10月	新任職員中間フォローアップ研修
11月	法人全体研修会:中止
1月	新任職員サポーター研修
2月	新任職員フォローアップ研修
3月	新任職員(事前)研修

カ 安全管理体制の強化

(ア) 感染対策

- i 新型コロナウイルス感染症の状況報告および、BCP、他施設からの峰円の要否、課題について、毎回報告し、必要に応じて会議した。
- ii インフルエンザやノロウイルスなど感染状況について各施設が定期的に報告し、情報の共有を継続した。終盤は新型コロナウイルスの情報を共有。次年度は、状況を見ながらさらに詳細な対応について検討する。

(イ) 風水害対策

- i 各施設における災害対策および職員の行動指針について、リスクマネジメント部会を中心に確認、法人内施設で共有し、アップデートした。

(ウ) 安全管理体制の強化

- i 医療福祉センター聖ヨゼフ園における発熱外来の新設、入館における感染対策など感染対策を強化
 - ii 防犯・安全管理体制の強化を実施。
- キ 人材確保
- (ア) 福祉のしごと説明会への参加
 - ※ 求人に関しては、Web 環境を整え、Web での説明会参加などに対応した。

(3) 法人全体会 (H9.9.1 設置)

ア 令和3年3月16日

- (ア) 理事長挨拶 ※ 全社協研修生 現場研修等のお礼
- (イ) 法人組織及び委員紹介 (異動者)
- (ウ) 「2021年度 経営方針 (前文 (めざす方向))」・
「新ビジョン (慈愛会ビジョン2025)」説明
- (エ) 2021年度 事業計画の概要 説明
 - ① 各施設の取り組み (各施設代表者)
- (オ) 聖ヨゼフ園 山本正土園長退任 (退職) 挨拶

(4) 法人全体研修部会 報告

ア 令和2年度の方向性

- (ア) 経営方針「7. 職員の資質向上」を目指し具体的活動の実践として 「①法人研修体系構築の推進②施設内外研修の充実」に向け、法人研修体系の推進支援と法人内研修の内容の充実
- (イ) 法人の研修体系に沿ってより充実した研修システムが求められている。そのため各施設では外部派遣研修、各施設主催による研修及び自己学習と個々の資質向上のために多方面の研修が企画
- (ウ) 部会が主となり企画する新任職員に関する研修、法人全体研修会については経営方針に沿った研修が実施できるよう「福祉の視点、現場職員の専門的視点」で企画検討。

イ 具体的方策と具体的取組

- (ア) キャリアパスステージ別「法人研修」の推進と企画内容の充実を図る。
 - i 人材育成としての意識の醸成と目的の明確化
 - ii 法人研修体系プロジェクトチームと法人研修部会の連携
 - iii 法人全体研修会の充実
- (イ) 専門部会 (栄養士部会、接遇向上委員会、感染症予防委員会) との連携を図る。
 - i 各専門部会との連携推進
 - ii 栄養士部会研修会と活動の充実
- (ウ) 各施設での研修充実に向け事業計画での研修企画との共有を図る。
 - i 各施設内外の研修の充実

ウ 法人研修の実施状況

(1) 令和2年度 新任職員事前研修会	コロナ禍により延期 (内容一部変更し、10/25 実施。事前研修・中間フォローアップ研修の内容を合わせた内容にて開催)
(2) 考課者研修・新任職員人事考課研修	令和2年4月6～7日 聖ヨゼフ園・糸島地区 TV 会議
(3) 法人初任者研修①	令和2年11月19日～20日 オンライン研修 (各会場)
(4) 法人全体会	コロナ禍により中止
(5) 法人中堅職員ステップアップ研修	コロナ禍により中止
(6) 法人リーダー研修	コロナ禍により中止
(7) 新任職員中間フォローアップ研修	令和2年10月25日 オンライン研修 (各会場)
(8) 法人全体研修会	コロナ禍により中止
(9) 新任職員サポーター研修	令和3年1月26日 オンライン研修 (各会場)
(10) 新任職員フォローアップ研修会	令和3年2月11日 オンライン研修 (各会場)
(11) 令和3年度 新任職員事前研修会	令和3年3月20日～21日 オンライン研修 (各会場) (自宅)

エ 法人研修の実施と各施設の研修状況の共有等

- (ア) 今年度は、コロナ禍の影響にて、これまで十数年継続実施してきた法人研修内容が通常どおり開催する事が難しい状況であり、研修の開催・内容・開催方法の変更が余儀なくされた。コロナ感染症予防対策にて、各施設の交流も制限される中、計画の半数近くの研修を実施できた事は成果のひとつであると考え。また、開催方法の変更が求められた事によって、zoomを中心としたオンライン研修の実施・定着ができた事は、研修の幅を広げる結果に繋がり、集合研修に比べ職員の移動時間の短縮ができるとのメリットも感じられた。各施設設備の向上及び職員のzoomの操作技術の向上にて、オンライン研修のスムーズな実施を行えるようになった事は今後においても研修の選択幅の広がりにも繋がる。
- (イ) 法人研修部会では、今年度より各施設の職員研修の現状報告・ノウハウの共有を始めた。法人間で各施設特有の研修内容や研修実施の仕組み等のノウハウを共有する事により、全体的な職員研修の向上に繋がるように努めた。来年度以降も情報の共有・部会よりの支援に努めていきたい。法人新任研修の内容についても、講師陣とのやり取りを密に行い、内容の共有・年間を通した繋がりへの検討・今後の法人研修のあり方の共有を行う事ができた。新任研修とサポーター研修の連動や、職員手帳（キャリアデザインハンドブック）作成から約10年が過ぎ、研修目的が再整理が必要な事など今後の課題も発見する事ができた。今後の取り組みへと繋げていく。
- (ウ) 法人のキャリアパスステージ別の研修についても、オンライン研修にて研修内容を一部短縮したが、継続して実施し・積み上げに努めている。また、新たな講師（法人職員）の参加にて、継続して研修がおこなえる基盤づくりについても進行中である。

オ 今後の課題

来年度も、コロナ禍の影響が続く中、今年度選択技として確立されたオンラインでの研修開催をうまく活用して、計画的に研修を実施していく事が課題である。感染状況（施設状況・地域状況）にて、開催是非の判断や、研修内容・開催方法を随時、検討・実施していく事が必要である。

また、今年度新たに取り組んだ、各施設のビデオ紹介等の成果物を積極的に活用していきたい。来年度も法人研修部会の連携を深める事によって、法人研修の充実、各施設の研修状況・研修ノウハウを共有し、法人全体の職員の資質向上に尽力していく。

(5) 法人サービス評価部会

ア 令和2年度の活動方針

- (ア) 令和2年度の法人サービス評価部会は、「慈愛会ビジョン2020」の第5項目「サービスの質の向上」および「2020年度 慈愛会 経営方針」に則り、サービスの質を更に向上させることを目指して施設毎の取組みを実施し、情報を共有する。
- (イ) 法人内利用者相互交流事業や法人内施設相互見学事業の企画・実施に向けて取り組む。
- (ウ) 法人接遇向上委員会の活動と連携を図り、支援する。

イ 具体的方策への取り組み

- (ア) 養育・支援の質の向上
部会として法人内利用者が交流出来る活動や移動動物園等を利用した交流活動を予定していたが新型コロナウイルス感染症防止のため実施出来なかった。ZOOMを使った交流や施設での動画の披露等検討したが、新型コロナウイルス拡大防止に向けての取り組みを優先し、次年度企画・実施することにした。
家族との交流についてはオンライン、日々の活動の様子を知らせる、お手紙や電話や窓越し・ベランダ越し・インカムを使用しての面会等多様な方法で実施した。新型コロナウイルス感染防止のため、外部へのお出かけや人との交流が制限される中、誕生会等施設内で出来る取り組みを各施設で実施し、情報を共有した。
また、利用者・保護者満足度評価を実施し、生活や活動の見直しを各施設で行った。
- (イ) 利用者の権利擁護への取組み
清心慈愛園の第三者評価において「意見要望のホームページ等への掲載について」の記載があり部会で協議した。現状では掲載していない、個人の意見要望についてはプライバシー保護の観点も

あり掲載は難しい等意見交換を行った。

CAP・権利擁護・虐待防止・成年後見人の研修への取組みや子どもの権利委員会にて講義や悩み相談の実施等各施設での取組みについて情報を共有した。

(ウ) サービスの評価に関する取組み

- i 部会として相互見学事業での内部評価実施予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため実施出来なかった。10月に篠原の里、1月に清心慈愛園に外部評価受審、各施設では外部受審後の改善への取組みや自己評価の実施について情報を共有した。

(エ) 接遇向上委員会の充実

- i 法人内全施設で接遇自己チェックを実施し、法人内全職員の自己の接遇についての振り返りを促し、接遇意識の向上を推進した。
- ii 法人内職員の接遇意識の向上を目的として、法人共通の接遇目標を設定し、接遇に関する広報誌（接遇ニュース）を作成して3月に各施設へ配布した。
- iii 法人新任職員事前研修の『接遇講習』に向けて法人の職員として求められる基礎的な接遇を習得できるよう講義・演習の準備を進めたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため当該研修も大幅に短縮され、接遇講習は次年度の各施設の研修で実施することになった。

ウ 次年度に向けて

- (ア) 「養育・支援の質の向上」「利用者の権利擁護への取組み」「サービスの評価に関する取組み」「接遇向上委員会の充実」への取組みを継続していく。
- (イ) 新型コロナウイルス感染状況から法人内見学や交流の実施については非常に難しいため、ZOOMを使った交流や利用者が作成した作品の受け渡し、個人情報に配慮した動画での交流、各施設のプロフィール動画等各施設のニーズに合わせた企画や実施に向けて取り組んでいく。
- (ウ) 認知症対応型共同生活介護事業所を対象に外部評価の一部が緩和され地域密着型サービス外部評価が可能になったように制度の変革についても情報を共有し、部会でも議論していく。

(6) 法人リスクマネジメント部会

ア 目的

この部会は、各施設にリスクマネジメント理論を適用し、リスクマネジメントの基本的な考え方や具体的な組織のあり方を調査研究する。

イ 令和2年度の具体的な取組み

当部会では、ハード・ソフト・環境面の相互関係をより重視したリスクの洗い出し、再発防止策はもちろん「未然防止策」に力を入れリスクマネジメント体制の充実を図り、「PDCA」サイクルによる取組みを継続実施した。

(ア) リスクマネジメントの充実

- i 総合的リスクに対する対応方法の検討
 - ・ 特にサービス提供、災害、事故を現場におけるリスクとして捉え検証し、必要に応じて法人運営委員会に提案した。
 - ・ 各施設事故防止委員会等で定期的な検討
- ii リスクマネージャーの育成とシステム化
 - ・ 今後も各施設において計画に沿った養成の継続。
- iii 感染症対策の充実（感染症対策委員会の取組み）
 - ・ 専門委員会の設立（令和2年7月20日設置）
 - ・ 専門委員会での法人統一した対策等の検討（新型コロナウイルス感染症）
 - ・ 各施設の感染マニュアルの周知（新型コロナウイルス感染予防の徹底等）
 - ・ 各施設、感染のアウトブレイク時のBCP作成の検討と職員への周知方法の検討
 - ・ 各施設における感染の研修・講習の検討（法人全体研修部会との連携の検討）
- iv 利用者の生活習慣病対策
 - ・ 各施設の生活習慣病対策の情報共有
- v 福祉避難所としての取組み

- ・ 行政との協議（富の里・篠原の里・聖ヨゼフ園）
- (イ) 意見・要望への取り組み
 - i 意見・要望等のサービス改善システムの充実
 - ・ 事例検討を通して、情報の共有化を行った。（部会開催時各施設より報告）
- (ウ) 安全対策への取り組み
 - i 災害時、各地区への応援体制の検討
 - ii 避難訓練の充実
 - ・ 地震、風水害等を想定した避難訓練の実施
 - ・ 消防計画の充実と地域への周知地域防災計画に沿った協力体制の見直し消防団、消防署との合同防災訓練の計画と実施（年1回の実施）（篠原の里）
 - ・ 大刀洗地区合同の災害訓練の実施（7月）と協力体制の構築
 - iii 防犯対策の取り組み
 - ・ 防犯マニュアルの見直しの検討と周知徹底（各施設）
 - ・ 防犯対策の訓練と講習の実施（各施設）
 - iv BCP（事業継続計画）の充実と確認
 - ・ BCPの見直し（警戒レベルに沿って変更）
 - ・ 業務フローの作成、防災備品の整備と確認（各施設の備蓄品の一覧作成と確保日数）
次年度は、報酬改定等に伴うBCP義務化に向けての確認と書類整備を行う
 - v 遊具、設備等の安全点検の実施
- (エ) 腰痛予防対策への継続（富の里・聖ヨゼフ園）
 - i ラジオ体操、健康体操の実施の継続
- (オ) 利用者の権利擁護への取り組み
 - i 職員倫理規程と行動指針の周知
 - ・ 職員倫理規程、各施設版の行動指針を職員へ周知
 - ・ 虐待防止対応マニュアルの見直しと情報共有（各施設）
 - ・ 不適切な行為をなくす対応を検討し、虐待防止につなげる対策（各施設）

(7) 法人地域福祉部会

- ア 「社会・地域における公益的な取り組み」に関する広報紙の作成
 - (ア) 広報紙（かわら版）の機能強化として、事業活動、提供するサービス内容、公益的な取り組みの実施状況等について地域に積極的に発信した。
 - i かわら版の活用方法
 - ・ 各施設で掲示版に掲示、法人ホームページに掲載
 - ・ 利用者、家族（園だより等と一緒に送付）、法人、施設内の会議、研修、外部での会議、研修、実習生、学校や関係機関訪問、行政、社協、公益的な取り組みで関わる方、就職説明など
 - ii かわら版第9号掲載内容
 - ・ 出前相談室（富の里）
 - ・ ホームレス支援、ライフレスキュー（篠原の里）
 - ・ きょうだい児支援、買い物支援（聖ヨゼフ園）
 - iii かわら版第10号掲載内容
 - ・ 地域合同夜間想定避難訓練（篠原の里）
 - ・ 南風小学校3年生リモート交流会（富の里）
 - ・ 在宅重症児のお楽しみ会（聖ヨゼフ園）
 - ・ ボランティア（清心乳児園）
 - ・ お節料理の提供（清心乳児園・清心慈愛園・聖ヨゼフ園）
 - ・ 認知症見守り・声掛け模擬訓練（源藤の里こころ）
- イ 法人の経営方針等をもとに、各施設の『社会・地域における公益的な取り組み』を下記に示す
(ア)～(キ)のイメージのもと、現在既に実施していること、計画・案等について、これから

取り組む予定の分類作業を実施。

- (ア) 自己財源による社会福祉事業の実施
 - (イ) 実施している社会福祉事業を受け皿として公益的な活動
 - (ウ) 実施している社会福祉事業の延長上(周辺)の公益的は活動・地域の人びと等を対象とした活動
 - (エ) 定款記載の公益事業のなかでも自己財源による事業
 - (オ) 地域福祉、社会福祉の向上に向けた活動
 - (カ) ノウハウや経験・専門人材や施設・設備を活かした取り組み
 - (キ) その他の取り組み
- ウ 法人の「社会・地域における公益的な取り組み」について「イ」で分類した取り組みを下記要項で整理作業を実施。
- (ア) 取り組み名、実施施設、活動内容、開始年月日を記載。
 - (イ) 「現況報告書」の取り組み分類コード類型に応じた以下の9項目に分類。
 - (ウ) 地域の要支援者に対する相談支援
 - (エ) 地域の要支援者に対する配食、見守り、移動支援等の生活支援
 - (オ) 地域の要支援者に対する権利擁護支援
 - (カ) 地域の要支援者に対する資金や物資の貸付・提供
 - (キ) 既存事業の利用料の減額・免除
 - (ク) 地域の福祉ニーズ等を把握するためのサロン活動
 - (ケ) 地域住民に対する福祉教育
 - (コ) 地域の関係者とのネットワークづくり
 - (サ) その他
- エ 情報共有
- (ア) コロナ禍での各施設の取組み・工夫(日中活動・地域における公益的取組み・ボランティア等)

(8) 法人心理士会

ア 情報交換・勉強会

- (ア) 情報交換 : 事例・心理業務・研修 他
- (イ) 勉強会
- (ウ) 法人内スーパービジョン : 検査所見・困難事例 他

イ 心理的緊急支援

- (ア) 心理的緊急支援の実施
 - i 法人内施設関係者の急逝を受け、急遽、法人内施設利用者・職員へ心理的緊急支援を実施
(R2年7月～8月・R3年2月)
 - ・ 心理教育のための資料作成(職員用資料・利用者用リーフレット・相談カード)
 - ・ 法人心理士会による実施
[対象利用者に対する個別面接(アセスメント・心理教育)] [対象職員に対する心理教育]
[対象職員(希望者)に対する集団面接(カタルシス・シェア・心理教育)]
 - ・ 外部専門家による実施
[対象職員(希望者)に対する個別面接] [対象職員(希望者)に対する集団面接(カタルシス・シェア・心理教育)]
 - ・ 法人内関係施設との連携・情報提供
 - ii 法人内施設における不適切ケア事案を受け、当該施設心理士としての対応に関する法人内スーパービジョンを実施(R3年1月～2月)
- (イ) 心理的緊急支援の体制構築
 - ・ 心理的緊急支援の概要の検討(メンバー構成・基本姿勢・連絡調整経路・支援内容等)
 - ・ 清心乳児園園長を主管園長とした「法人心理士会」を設置(令和2年7月20日付)
園長会・法人運営委員会等で「法人心理士会」・「心理的緊急支援」について報告。
- (ウ) 勉強会

- ・ 心理的緊急支援について（先行事例の調査）
[厚生労働省、文部科学省、自衛隊、大分県、北九州市立精神保健福祉センター、日本精神神経学会、日本心理臨床学会、福岡県臨床心理士会 他]

ウ 職員派遣

(ア) 大刀洗町親子教室

- ・ 発達の遅れが気になる幼児および保護者への個別相談及び集団指導

(9) 法人倫理委員会

開催日	令和2年 5月14日	職員からの臨床研究倫理審査 [個人情報保護推進委員会]	1件（承認1件）
	令和2年12月22日	[個人情報保護推進委員会]	
	令和3年 2月26日	[個人情報保護推進委員会]	
	令和3年 3月29日	職員からの臨床研究倫理審査	2件（承認2件）
		令和2年度内計	3件（承認3件）
職員からの臨床研究倫理審査【H26.3.3～】 申請累計46件（承認46件）			

※ 個人情報保護推進委員会【法人内（各施設）個人情報の取り扱いの確認】 年度内3回
[令和2年5月14日] [令和2年12月22日] [令和3年2月26日]

(10) 災害時の連携・支援による覚書 R3.2.20 締結（日本福祉大学・連携社会福祉法人）

8 キャリアステージ対応の職員研修の実施

(1) 人事考課制度関係研修会

H17年度から導入した人事考課制度は、より良い運用のため各種取り組みを行った。

ア 考課者研修会

新任考課者研修	令和2年 9月15日	源藤の里こころ	【2名】
新任考課者研修 [テレビ会議]	令和2年10月 5日	清心慈愛園・聖ヨゼフ園・清心乳児園 富の里・篠原の里	【計8名】
考課者フォローアップ研修	令和2年 9月15日	源藤の里こころ	【3名】

イ 新任職員研修会

新任職員研修（正規職員）	令和2年 9月15日	源藤の里こころ	【2名】
新任職員研修（非正規職員）	令和2年 9月15日	源藤の里こころ	【3名】
新任職員研修（正規職員）	令和2年10月 5日	清心慈愛園・聖ヨゼフ園・清心乳児園	【計24名】
新任職員研修（正規職員）	令和2年10月 6日	清富の里・篠原の里	【計5名】
新任職員研修（非正規職員）	令和2年10月 6日	富の里	【1名】

ウ 昇給ガイドラインコンサル

令和2年6月1日（月）

エ 今後の継続的課題

- (ア) 考課者育成を充分に行い、人事管理で大切な「人材を育てる仕組み作り」を推進
- (イ) 研修体系と整合性を取った人事考課制度の運用
- (ウ) 人事考課制度の目的や必要性についての職員への理解促進の徹底

(2) 初任者研修会

第4回 令和2年11月19日～20日 聖ヨゼフ園会議室 参加23名（通算参加者113名）

(3) リーダー研修（通算参加者70名）

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策等から判断し、実施を見送り

(4) 中堅職員ステップアップ研修 (通算参加者 164 名)

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策等から判断し、実施を見送り

(5) 新任職員フォローアップ研修

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策から「法人新任職員事前研修」が所定時期に実施できなかったため「新任職員研修」を従来の「中間フォローアップ研修」と併せた内容で実施

ア 新任職員研修

令和2年10月25日 テレビ会議 (聖ヨゼフ園・富の里・源藤の里) 参加 35 名

イ 第23回 新任職員フォローアップ研修

令和3年2月11日 Zoom 会議 (聖ヨゼフ園・清心慈愛園・富の里・源藤の里) 参加 37 名

(6) マネジメント研修会

(H28年度・H30年度・H31年度・令和2年度は、対象者数等から判断し、実施見送り)

H27年度～H29年度の参加者 (通算20名)

(7) 法人全体研修会

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策等から判断し、実施を見送り

(8) 新任職員サポーター研修会 (「新任職員サポート制度指針」使用)

第10回 令和3年1月26日 Zoom 会議 (聖ヨゼフ園・清心慈愛園・富の里・源藤の里)
参加 20 名 (通算 224 名)

(9) 新任職員事前研修

第24回 令和3年3月20日～21日 WEB 開催 参加 30 名

(新規採用者：自宅から Zoom 参加)

(中途採用者：3拠点 (聖ヨゼフ園・富の里・源藤の里) から参加)

9 地域における公益的な取組

(1) 生計困難者に対する相談支援事業の実施

ア 定款変更 (認可日) 平成 29 年 11 月 15 日

(ア) 事業目的に「生計困難者に対する相談支援事業の経営 (第二種社会福祉事業)」を追加

イ 事業名

(ア) ふくおかライフレスキュー事業

(イ) みやざき安心セーフティネット事業

ウ サポーター研修受講者 (令和3年3月31日現在) 16 名 (内 1 名年度末退職)

[清心慈愛園 2 名・聖ヨゼフ園 5 名・清心乳児園 3 名・富の里 4 名・篠原の里 2 名]

エ 活動実績 (令和2年度)

(ア) 糸島地区 [支援中の案件 0 件] [支援金額 0 円] [支援終結数 0 件]

① ふくおかライフレスキュー事業 糸島地区連絡会

	期日	項目	内容	参加人数
1	8月18日	第33回糸島地区連絡会 (主催：福岡県老人福祉施設経営協議会)	住居確保給付金：福祉支援課から加布里保育園の取組紹介	1
2	10月14日	第34回糸島地区連絡会 (主催：福岡県老人福祉施設経営協議会)	事例検討：MUKA (香月福祉会) の取組紹介	1
3	12月18日	第35回糸島地区連絡会 (主催：福岡県老人福祉施設経営協議会)	事例検討：玄海学園の取組紹介	1
4	10月9日	第36回糸島地区連絡会 (主催：福岡県老人福祉施設経営協議会)	事例検討：サポーターフォローアップ研修について	1

- (イ) 大刀洗地区 2件
 - ① 職員派遣 聖ヨゼフ園 2件
 - i 令和2年7月12日 聖ヨゼフ園 職員2名派遣
大雨の被害による庭・家屋・農家ビニールハウスの環境整備（高齢者世帯・農家世帯）
 - ii 令和2年9月18日 聖ヨゼフ園 職員3名派遣
ひとり親（体調不良）世帯の環境整備（不用品の搬出・運搬、室内清掃）
- (2) 短期入所利用者への誕生カード郵送（全11回）
- (3) 町内社会福祉法人情報交換会への参加
 - ア 令和2年10月22日
 - (ア) 事業計画、今後の活動方針の確認

10 法人ホームページの運営 掲載画面 再構築（令和3年3月19日公開）

11 事業所内保育所（きつするーむ あいあい）

- (1) 許認可等
 - ア 平成25年12月27日（福岡県の「事業所内保育施設運営計画」認定決定通知 受領）
 - イ 平成26年1月17日（福岡県あて「認可外保育施設設置届出」提出）
- (2) 事業開始 平成26年1月6日
- (3) 管理運営責任者 株式会社アイگران（広島市西区庚午中1-7-24）
- (4) 保育施設
 - ア 医療福祉センター聖ヨゼフ園3階73.62㎡
（保育室15.90㎡、乳児室25.66㎡、便所1.33㎡、調理室5.65㎡、その他（事務室等）25.08㎡）
 - イ 保育実績 2020年度 延べ1,929名（2019年度 延べ1,644名・2018年度 延べ1,386名）

12 国際貢献事業

(1) アジア社会福祉従事者研修生（全国社会福祉協議会）受入状況

第30期	1名	平成25年9月12日 ～平成26年1月24日	フィリピン	ホスピシオ デ サンホセ	ソーシャルワーカー（女性）
第31期	1名	平成26年9月22日 ～平成27年1月21日	スリランカ	ネセック財団	ソーシャルワーカー（男性）
第32期	1名	平成27年9月29日 ～平成28年1月22日	フィリピン	ネオシモ財団	ソーシャルワーカー（女性）
第35期	1名	平成30年10月8日 ～平成31年1月18日	大韓民国	ナレウル グループホーム	ソーシャルワーカー（女性）
第36期	1名	令和元年10月7日 ～令和2年1月17日	台湾	桃園家庭扶助 センター	ソーシャルワーカー（女性）

(2) 韓国学生日本社会福祉研修受入状況

第1期生	16名	2000年7月17日～7月24日 (8日間)	韓世大学
第2期生	17名	2001年7月31日～8月7日 (8日間)	韓世大学
第3期生	18名	2004年1月26日～2月2日 (8日間)	韓世大学
第4期生	17名	2004年8月1日～8月8日 (8日間)	韓世大学、江南大学、水原女子大学、天安大学、 大真大学、新吉総合福祉館
第5期生	17名	2005年7月31日～8月7日 (8日間)	韓世大学、江南大学、天安大学、新吉総合福祉館

第6期生	18名	2006年7月30日～8月7日 (9日間)	韓世大学、江南大学、聖潔大学、淑明大学、新吉総合福祉館
第7期生	18名	2007年7月30日～8月6日 (8日間)	韓世大学、江南大学、崇實大学、全北大学、ルーテル大学、新吉総合福祉館
第8期生	17名	2008年7月28日～8月4日 (8日間)	韓世大学、江南大学、崇實大学、全北大学、韓国デジタル大学、新吉総合福祉館、同志社大学
第9期生	19名	2010年7月26日～8月2日 (8日間)	崇実大学、全北大学、江南大学、ルーテル大学、九鳳福祉財団、新吉福祉館
第10期生	19名	2011年8月1日～8月8日 (8日間)	木浦大学、江南大学、韓世大学、全北大学、カトリック大学、白石大学、新吉福祉館
第11期生	19名	2012年7月31日～8月7日 (8日間)	崇実大学、江南大学、韓世大学、全北大学、新吉福祉館
第12期生	16名	2014年8月4日～8月11日 (8日間)	新吉福祉館、江南大、又松大、南ソウル大、全北大、崇實大、ルター大
第13期生	20名	2016年8月1日～8月8日 (8日間)	祥明大、江南大、又松大、三育大、水原女子大、建国大、南ソウル大
第14期生	19名	2017年7月31日～8月7日 (8日間)	新吉、祥明大、江南大、建国大、水原女子大、又松大
第15期生	16名	2018年7月30日～8月6日 (8日間)	崇実大、祥明大、又松大、水原女子大、北京大、江南大
第16期生	16名	2019年7月29日～8月5日 (8日間)	水原女子大、又松大、江南大、ソウル女子大、極東大、永登浦障得人福祉館
合計	282名		

備考 2002年：サッカーワールドカップ日韓大会のため中止（学生ボランティア参加）

2009年：新型インフルエンザ流行のため中止

2013年：聖ヨゼフ園改築工事（新館）の為に中止

2020年：新型コロナ流行のため中止

(3) 韓国社会福祉視察研修

ア 2004年視察

(ア) 研修期間 H16年7月24日(土)～26日(月)3日間

(イ) 視察研修先 大韓民国 ソウル市

(新吉総合社会福祉館・児童養護施設 安養保育園・韓国社会福祉協議会)

(ウ) 参加者10名 (本法人役職員8名、他社会福祉法人2名)

イ 2010年視察

(ア) 研修期間 H22年8月27日(金)～29日(日)3日間

(イ) 視察研修先 大韓民国 ソウル市

(社会福祉士協会・新吉総合社会福祉館

10周年記念セミナー・研修生との交流会(第1～9期生))

(ウ) 参加者12名 (本法人役員7名、学識経験者1名、他社会福祉法人4名)